



蛭小便り

蛭川小学校
学校だより
2022.8.26
No. 6

あの日を語ることは未来を語ること

校長 伊地知みゆき

大きな事故なく 36 日間の夏休みが終わりました。ご家族や地域の皆様には、見守り等のご協力、大変感謝申し上げます。これまでで最も厳しいコロナ感染状況となった夏でした。それでも学校生活では経験できない、近所や親戚の方とのふれあい、朝のラジオ体操、夏の一研究一作品への取組み等々、予防に努めながら充実した時間を過ごした子どもたちです。そんな中、子ども自身や家族が体調を崩したところも少なくなかったかと思えます。健康のありがたさ、家族皆が元気に過ごせる幸せを実感する夏ともなりました。

またこの夏も北日本を中心に各地で豪雨災害が多発しました。ニュースが伝える被害の様子、後始末の大変さは見ていても苦しくなります。

8 月になると毎年長崎、広島の前爆の日から終戦の日を中心に、特集記事が報道され、戦争の悲惨と平和の大切さについて改めて考えさせられます。戦後 77 年がたち、直接体験した方から生の声を聞くことが困難になっていることが危惧されています。

「あの日を語ることは未来を語ること」

東日本大震災で被災され、今は語り部として活動されている方の言葉です。

過去の苦しみから立ち上がり、振り返ったことを広く伝えることで、過去の教訓を未来の対応に生かせるようにという、強い願いをもってみえます。

誰かに伝えたい、伝えなければならないと思えた「あの日」のことを、共有できる社会でありたいと願うばかりです。辛い思い出の「あの日」と同じくらい、幸せな「あの日」も未来につながると感じます。私たち大人はもっともっと子どもたちに、それぞれの「あの日」を語っていく必要があるのではないのでしょうか。

今日から学校生活が再スタートします。167 名の子どもたちが様々な「あの日」を共有しながら「未来」について語り合える学校生活をつくってまいります。これからもご支援よろしく願いいたします。

感染拡大防止のために…引き続きご協力よろしく申し上げます

- * 本人に発熱・風邪・下痢の症状のあるとき、また、同居の家族に発熱等の症状があるときは自宅待機。
- * 同居の家族が保健所の指示により PCR 検査を受ける場合、陰性が証明されるまで、児童も自宅待機。
- * 必ず検温してカードに記入し、体調を確認して登校させてください。マスクの予備も持たせてください。検温していない、体調が悪い、マスクがない状態で教室に入ることはないようにします。
- ◆ 本人・同居の家族が PCR を受検する場合、濃厚接触者や陽性と判明した場合は、保健所の指示に従ってください。また、学校にもお知らせください。

学校生活では次のように対応を続けます(熱中症予防とコロナ感染予防)

- * 気温・湿度や暑さ指数が高い日など、熱中症等の健康被害が発生するリスクがある場合においては、登下校時にマスクを外すなど、熱中症対策を優先する。
- * 給食は黙食を継続する。
- * 授業・活動時…身体が接触する活動、道具などを共有する活動、近い距離で長く話し合う活動、大声を出す活動、マスクを外す活動は控える(体育の運動時は外します。激しい運動は控えます)。
- * 子どもたちには手洗いと手指消毒をこまめにするよう指導します。